



福井コンピュータホールディングス株式会社

第3期 中期経営計画

FY2025 - FY2027

建設業の思いを創る。

INNOVATION for ALL.

社会を支える建設業が、そこに従事するすべての人が、力強く未来へと歩んでいけるように。
福井コンピュータグループは、ICTの技術を活用して創造と革新を積み重ねることで、
より豊かな未来の実現に貢献してまいります。

- はじめに
- 基本方針と将来像
- 重点施策
- 人的資本の成長戦略
- 定量目標
- キャピタルアロケーション

中期経営計画期間について



これまで当社グループがCAD事業の経営基盤を築いてきたFY2018までを第1創業期、FY2019以降を第2創業期と考えております。

FY2019～FY2021を第1中期経営計画期間、FY2022～2024を第2期中期経営計画期間とし、FY2025～2027までの本中期経営計画期間を第3期としております。

前中期経営計画期間の振り返り

- 前期間のFY2022～2024では、IT導入補助金の縮小等の外部環境の変化に対応できず、当初設定した定量目標を達成できておりません。

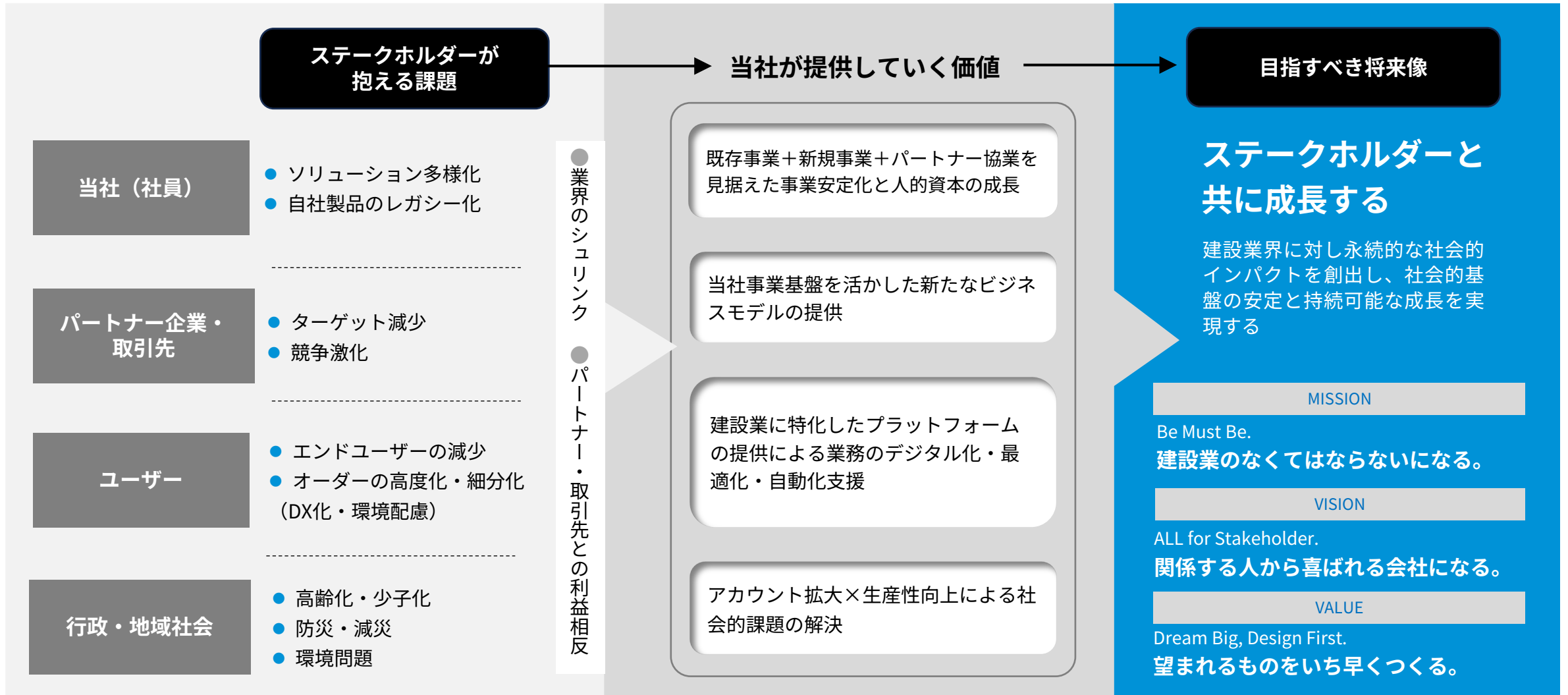


- 本期間ではその反省を踏まえ、外部環境の分析、当社が提供できる価値、ステークホルダーとの関係性をゼロから見直した上で、外部環境を捉えた基本方針や当社の目指すべき将来像を定めております。
- 実現に向けた重点施策や、基盤となる人的資本や成長事業への投資に注力することで、構造変化が求められている建設業界全体に向けて、ステークホルダーと共に、継続的なインパクトを創出し、安定的な成長を実現してまいります。

中期経営計画の基本方針

全てのステークホルダーとの価値観（問題意識）を共有し、
新たに・真に求められる価値を提供しながら共存共栄を目指します。
そのためにビジネスモデルの変革と、組織再編に取り組みます。

ステークホルダーと共に行う建設業界への価値提供



イノベーションにより目指す成長のイメージ

1 コアビジネスの成長 (ARCHITREND ONE等)

- CADの漸進的成長、新たな機能の追加
- プラットフォーム機能による顧客基盤の拡大
- アプリケーションのみでは効率化が難しい課題に対して、AIを活用したBPOサービスの提供

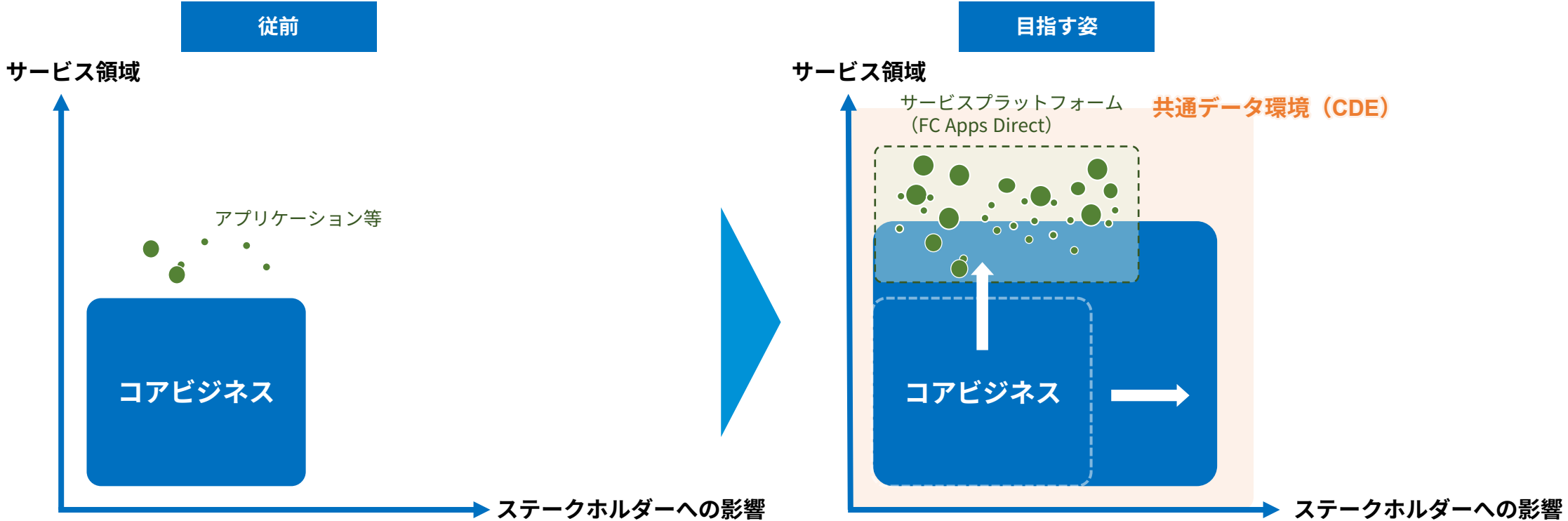
2 新たなビジネスモデル (FC Apps Direct) の展開

- アプリケーション (社外のソリューションを含む) を新たなサービスプラットフォームにより提供
- 当社顧客のニーズに対し、最適化・自動化してプラットフォーム上でのクロスセルを行い、アカウント拡大・ARPA拡大を目指す

3 共通データ環境 (CDE) の構築

- プロジェクトデータ等にかかわる共通データ環境 (CDE) の構築を推進
- データを一元管理することで、総合的な省力化・省人化の支援を行う

CDE : Common Data Environment



イノベーションにより目指す建設業全般を包括したサービス提供

1 コアビジネスの成長 (ARCHITREND ONE等)

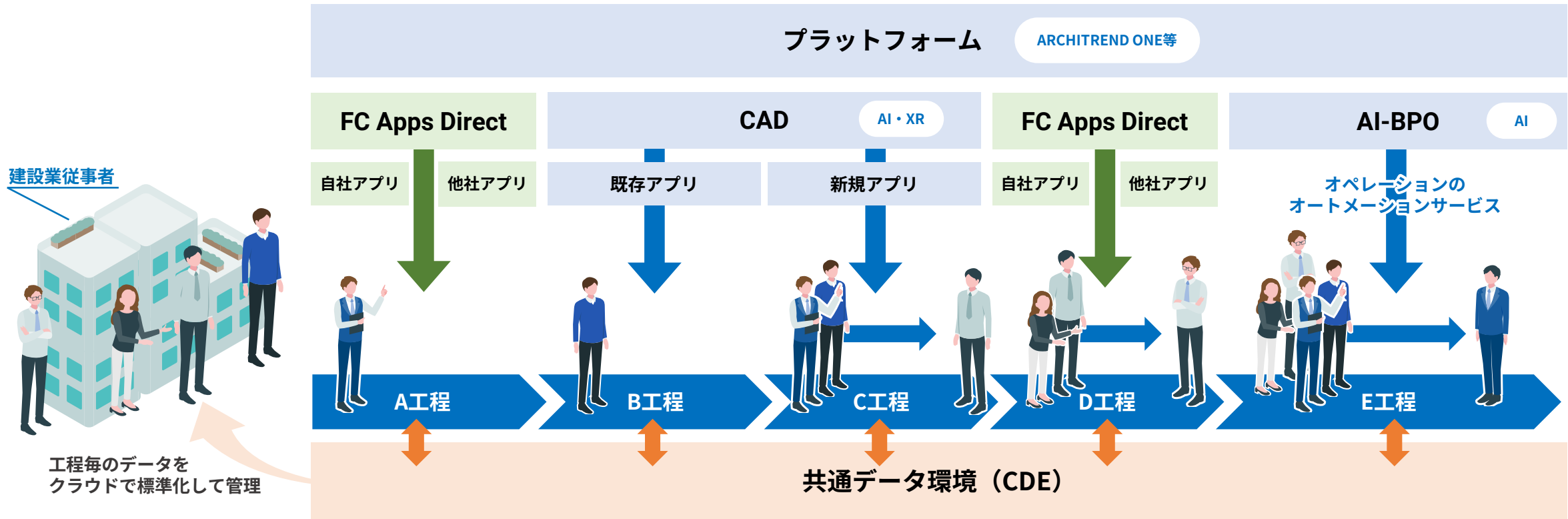
- CADの漸進的成長、新たな機能の追加
- プラットフォーム機能による顧客基盤の拡大
- アプリケーションのみでは効率化が難しい課題に対して、AIを活用したBPOサービスの提供

2 新たなビジネスモデル (FC Apps Direct) の展開

- アプリケーション (社外のソリューションを含む) を新たなサービスプラットフォームにより提供
- 当社顧客のニーズに対し、最適化・自動化してプラットフォーム上でのクロスセルを行い、アカウント拡大・ARPA拡大を目指す

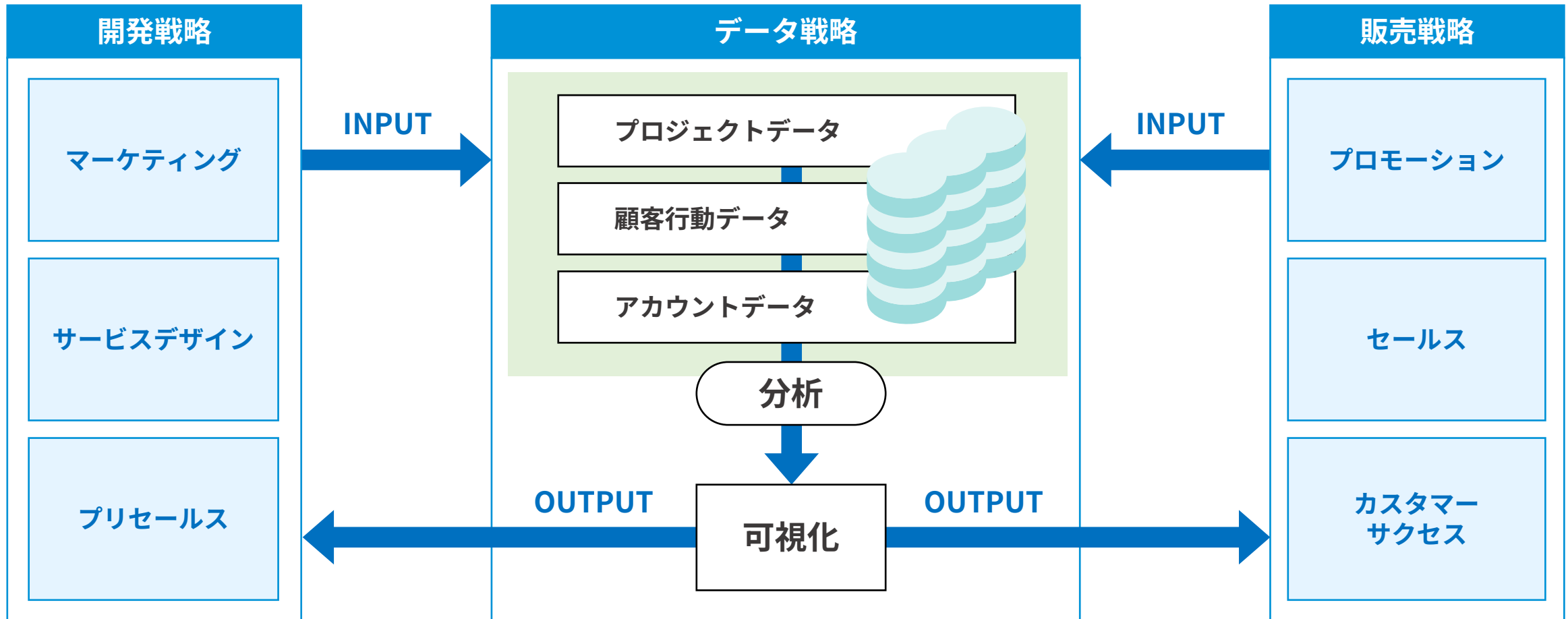
3 共通データ環境 (CDE) の構築

- プロジェクトデータ等にかかわる共通データ環境 (CDE) の構築を推進
- データを一元管理することで、総合的な省力化・省人化の支援を行う

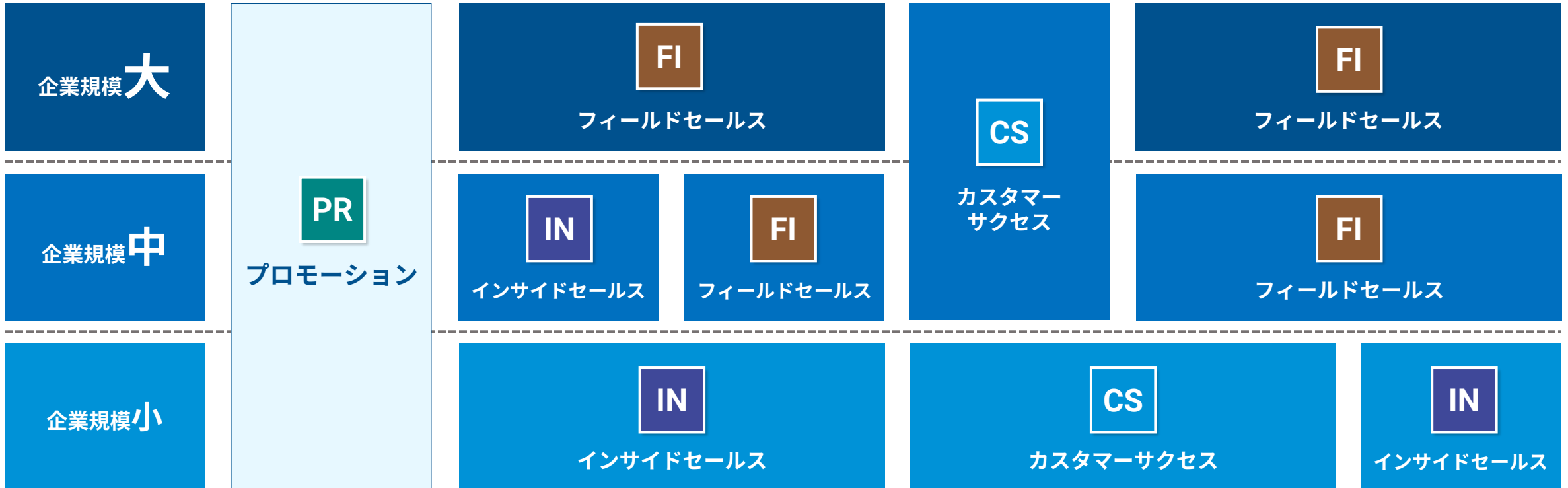
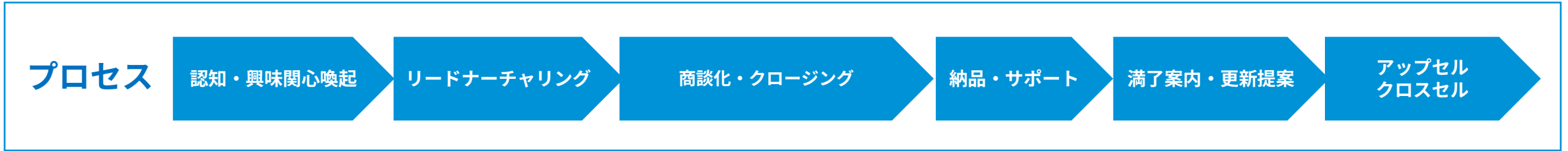


データドリブン経営の推進

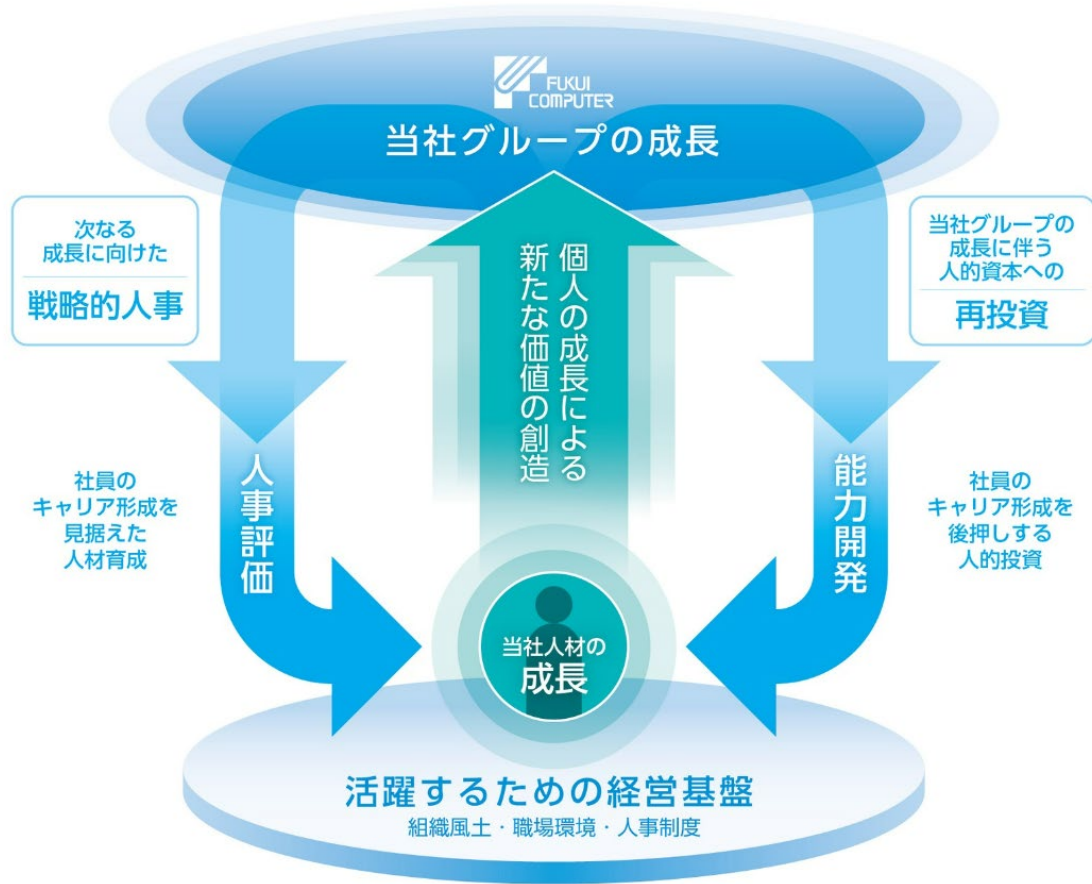
- 各種データを分析・可視化し、開発や販売戦略に結び付けることで、新たなソリューションの創出を目指します。
- ソリューションの機能、提供スピードの向上を図ります。



ユーザーへ最適な製品を提供するための営業機能の効率化



「個」の成長が「組織」の成長を促す好循環型のスパイラル



- 当社グループにとって人的資本は持続的な競争優位性の源泉です。
- 人事施策については求める人物像を明確にしたうえで制度構築し、経営戦略と結び付けながら積極的な投資を行います。

個人の成長がグループの成長につながる

- 本中期経営計画を進めるための、人的資本への投資とその効果測定に取り組みます。
- 業務プロセスや当社グループが提供する価値を改善するための人的資本投資を行います。
- 投資の対象は、経営及び管理を主としディレクションを行うマネジメント人材、事業等の企画・実現を主とするイノベティブ人材、実務を推進するバリュー人材/グロース人材の3つに区分し、それぞれに応じた取り組みを行います。

	人材要件	取組内容
マネジメント人材	変わりゆく業務プロセス・事業のバリューの中で現状認識を行いながら、各セクションにおいて戦略的にリソースを配賦し、自組織のみならず、全社的な成果に結びつけるよう意識し、ディレクションを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・サクセッション委員会の始動 ・マネジメント研修・評価者研修による能力開発 ・期初・期中MTGによる全社方針/KPI共有
イノベティブ人材	外部環境と当社グループが目指す将来像を踏まえ、真に求められる価値提供のために変革を推進し、実現するための事業デザインを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・社外トレーニー ・事業起案 ・FIT & GAP
バリュー人材 グロース人材	マネジメントの下で、当社グループのミッションステートメントに則り、着実な企業価値向上に資するよう業務に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・タウンホールMTG ・福利厚生改善

- ・採用強化
- ・社内表彰
- ・組織診断
- ・能力開発

他

売上

FY2023
138億円



FY2027
175億円

営業利益

FY2023
55億円



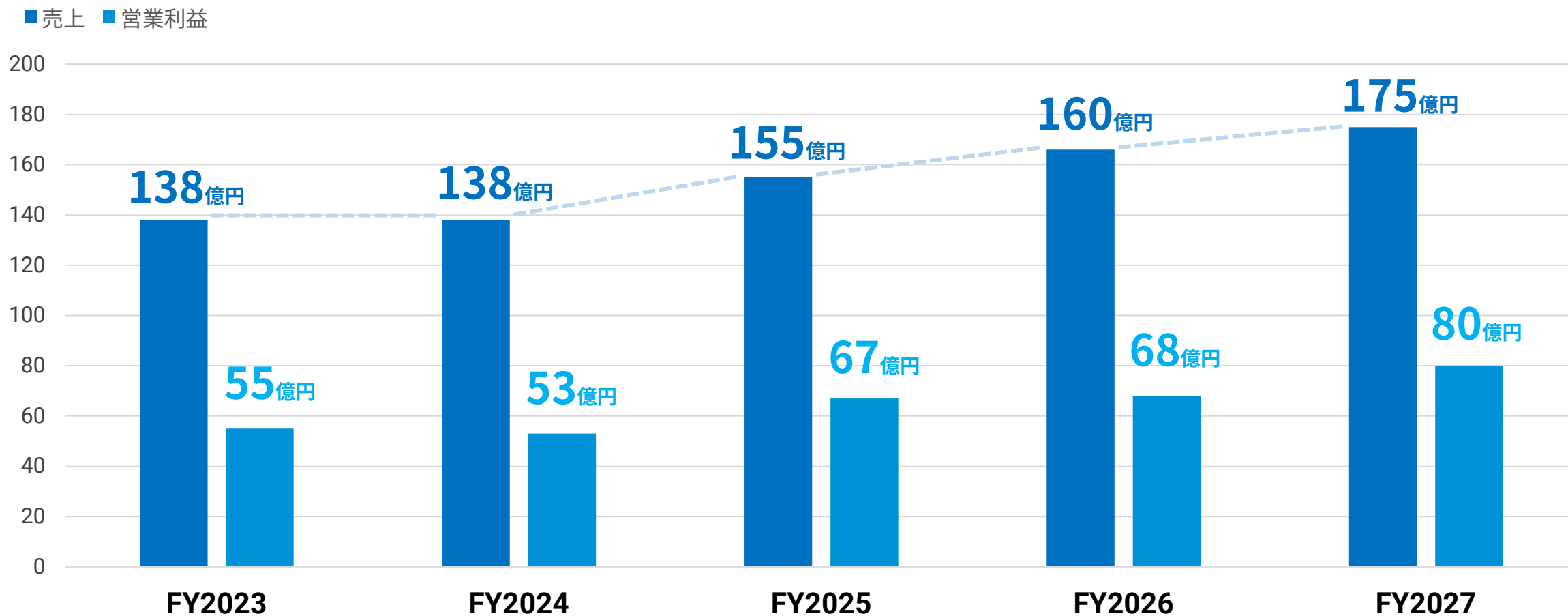
FY2027
80億円

ROE

FY2027
15%以上

株主配当

配当性向35%以上



事業投資枠

成長

新たな事業創出のために重点取組やデータ戦略実現に向け、事業への投資および積極的な人的投資を行ってまいります。

イノベーション
(R&D)

新しい製品やサービスの開発を行いイノベーションの創出や、将来的な技術開発や応用研究の基盤を築きます。

維持更新

設備メンテナンス費用等

株主還元

配当性向 **35%**以上



今後3年間の投資枠

FY2025 - FY2027 **70**億円

今後3年間の配当合計額

FY2025 - FY2027 **50**億円

(参 考 資 料)

① 福井コンピュータアーキテクト株式会社

タイトル：オールインワンの設計コネクタサービス『ARCHITREND ONE』

2024年12月11日（水）よりサービスイン！

② 福井コンピュータスマート株式会社

タイトル：～建設業の課題にスマートな解決策を～

建設業界に特化したサービスプラットフォーム「FC Apps Direct」の公開について

報道関係者各位

2024年11月8日

福井コンピュータアーキテクト株式会社

オールインワンの設計コネクトサービス『ARCHITREND ONE』 2024年12月11日（水）よりサービスイン！

～アーキトレンドをつなげよう。あらゆるデバイスから設計データをシームレスに共有して生産性を向上～

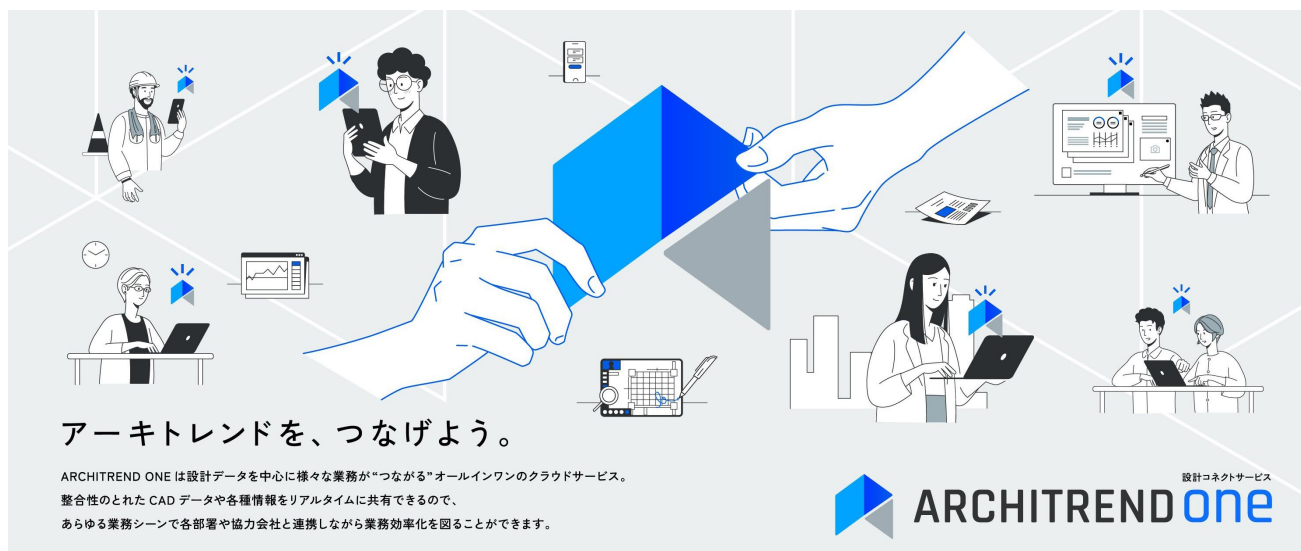
福井コンピュータアーキテクト株式会社（本社：福井県坂井市、代表取締役COO：田辺 竜太）では、オールインワンの設計コネクトサービス『ARCHITREND ONE』を2024年12月11日（水）よりサービスインいたします。

建設業の働き方改革が求められる中、業務プロセスの見える化や効率化は大きな課題であり、営業・設計・施工などの作業フェーズにおける設計情報の共有が重要となっています。『ARCHITREND ONE』では、クライアントとクラウドを融合してあらゆるデータを効率的に共有することで業務効率化を強力にサポートいたします。

【ARCHITREND ONEについて】

設計フェーズにおいては、設計図書を紙やPDFで個別共有するなど全体的なシステム化が遅れており、設計変更時のリアルタイムな情報伝達や図面の整合性にも大きな課題があります。

『ARCHITREND ONE』では、3D建築CADシステム『ARCHITREND ZERO』のデータがシームレスにクラウド連携して常に最新データの管理が行えます。アカウント単位で閲覧制限・編集権限を設定した上で場所・時間を問わず様々なデバイスから最新データを活用できるので、各部署や協力会社と“アーキトレンドをつなげる感覚”で整合性のある設計情報の共有や進捗確認、遠隔からの作業指示などが可能となり大幅な生産性向上が図れます。



アーキトレンドを、つなげよう。

ARCHITREND ONE は設計データを中心に様々な業務が“つながる”オールインワンのクラウドサービス。
整合性のとれた CAD データや各種情報をリアルタイムに共有できるので、
あらゆる業務シーンで各部署や協力会社と連携しながら業務効率化を図ることができます。

ARCHITREND one

【リリース日】

◇ 2024年12月11日（水）

【価格（税別）】

◇ 利用料金：月額15,000円／30ID【基本容量1TB】（追加料金：月額5,000円／10ID）

【本件に関するお問合せ】 福井コンピュータアーキテクト株式会社 営業企画課

福井県坂井市丸岡町磯部福庄 5-6 <https://archi.fukuicompu.co.jp>

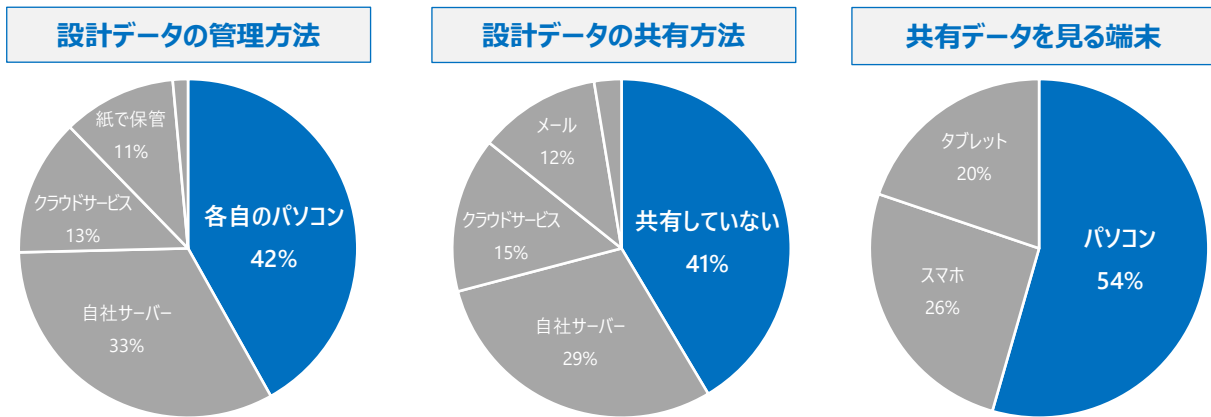
Tel：0776-67-8850 問い合わせフォーム：<https://hd.fukuicompu.co.jp/contact/general.php>

本サービスの背景【弊社ユーザー向けWebアンケートより（有効回答数1,446件）】

このたび弊社では住宅事業者実態調査として弊社ユーザー様にアンケート調査を実施いたしました。働き方改革や法改正対応に向けて、設計データの共有・作業時間の短縮は大きな課題と考えられます。

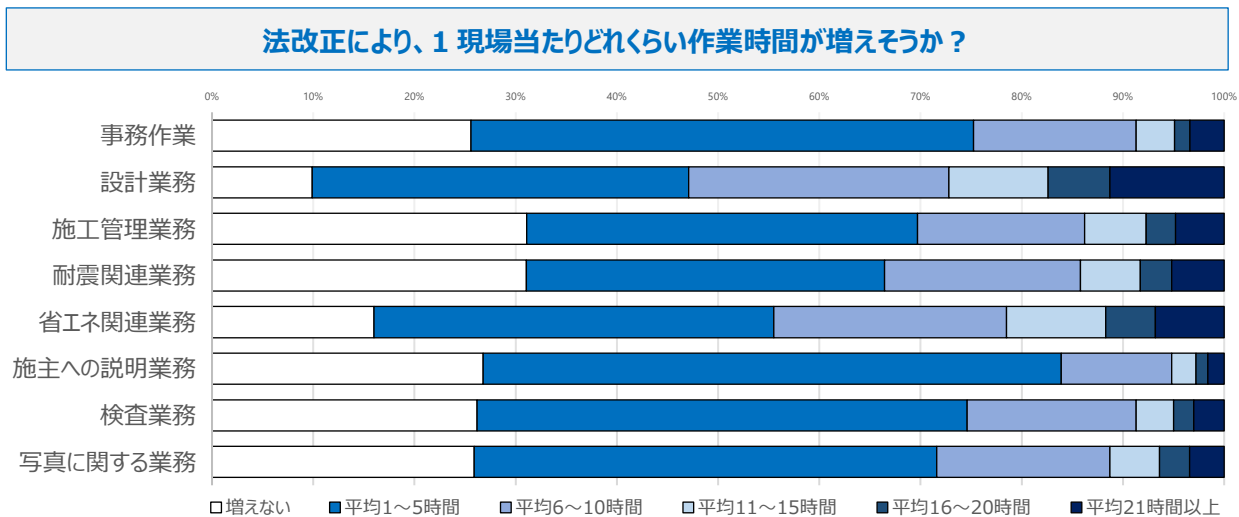
■ **設計データの管理・共有については全体最適化が十分進んでいない。**

設計データの管理は「各自のパソコン」が半数近くあり、約4割が設計データを「共有していない」など効率的な設計データの管理が進んでいない状況にあります。また、共有データを見る端末は「パソコン」が過半数以上とモバイル環境におけるデータ閲覧は今後さらに伸びていく可能性が伺えます。



■ **「設計業務」と「省エネ関連業務」で大幅な作業時間増加が懸念されている。**

法改正の影響でどの業務においても作業時間の増加が予想されますが、特に「設計業務」と「省エネ関連業務」は平均6時間以上増加の回答が半数近くを占めています。確認申請の規定変更や提出図書の増加で、作業効率化にむけて設計情報の共有・活用が大きなテーマになると考えられます。



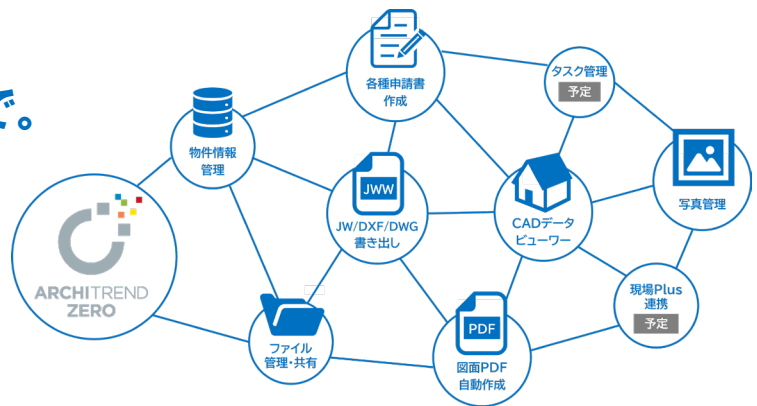
業務プロセスの効率化に向けて

- ① 社内管理における図面の整合性と設計データに係る属人化の解消 ▶
- ② 設計変更があった場合の社内外のリアルタイムかつ正確な情報共有 ▶
- ③ 各部署や協力会社ごとに異なる運用ルールやデータ形式などの統一 ▶

オールインワンで
横断的に活用できる
クラウド情報共有

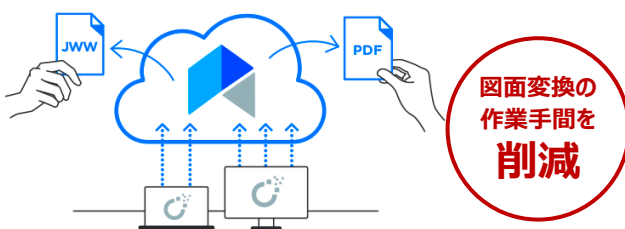
ARCHITREND ONEのポイント

設計を限りなくスマートに。
情報共有をオールインワンで。



ARCHITREND ONEは設計データを中心に様々な業務が“つながる”オールインワンのクラウドサービスです。シームレスに整合性のとれたCADデータや各種情報を常に最新のデータとしてリアルタイムに共有できるので、あらゆる業務シーンで各部署や協力会社とスマートに連携しながら業務効率化が図れます。

いつでも、どこでも。アーキトレンドを取り出せる



図面変換の
作業手間を
削減

常に ARCHITREND ZERO データとダイレクトに連携して管理・共有が可能。担当者以外でも CAD を起動することなく PDF や JWW に自動変換してダウンロードできるので属人化されていた業務も解消。

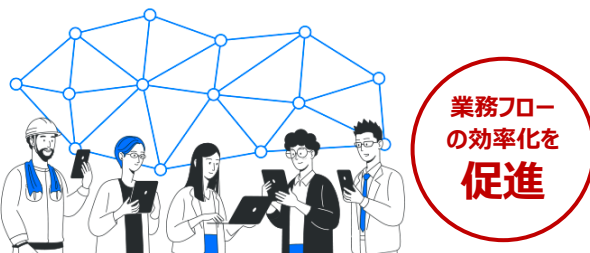
最適なアカウント制御でデータを見える化



情報共有の
トラブルを
防止

図面・データの共有はURL一つでOK。アカウント単位で閲覧制限や編集権限を設定しながらデータの見える化・意思疎通を図ることで社内外の情報共有がスムーズに。

共有ツールを統一して業務プロセスを最適化



業務フローの
効率化を
促進

統一ツールでリアルタイムに情報共有を図ることで業務プロセスを最適化。パソコンだけでなくスマホやタブレットでも効率的に共有できるので、全体的な業務フローの効率化を実現。

申請書類や台帳などの作業ワークを省力化



申請書の
作業手間を
軽減

他の担当者でも CAD を起動せずに ARCHITREND ONE に保存された物件データから確認申請書などの申請書類の作成・出力が可能。日報や安全記録などの書類や台帳なども電子化して活用。

ARCHITREND ONEでは、今後も各種プログラムとの連携や様々な業務を想定した機能拡張を図りながら設計コネクタサービスとしての有用性をさらに高めていくことで、将来的な業界情勢を見据えた弊社ユーザー様の業務支援ならびに使用満足度の向上に努めてまいります。

※本件は2024年5月10日に福井コンピュータホールディングス株式会社から発表された「株式会社フォトラクションとの住宅関連事業者向け商品の共創について」の共同開発による新サービス詳細をご案内するものです。

2024年11月8日

報道関係者各位

福井コンピュータスマート株式会社

～建設業の課題にスマートな解決策を～ 建設業界に特化したサービスプラットフォーム 「FC Apps Direct」の公開について

福井コンピュータスマート株式会社（本社：福井県坂井市、代表取締役 COO：柏木保宏。以下、福井コンピュータスマート）は、建設業に特化しワンストップで解決策を提供する新しいサービスプラットフォーム「FC Apps Direct」を2024年12月11日（水）に公開します。

本サービスは建設業の生産性向上や効率化を支援するソリューションを、参画するパートナー企業と共に提供し、顧客の利便性向上を図ることにより、建設業の課題解決を推進します。

なお、本案内は2024年5月10日に発表した内容の詳細となります。

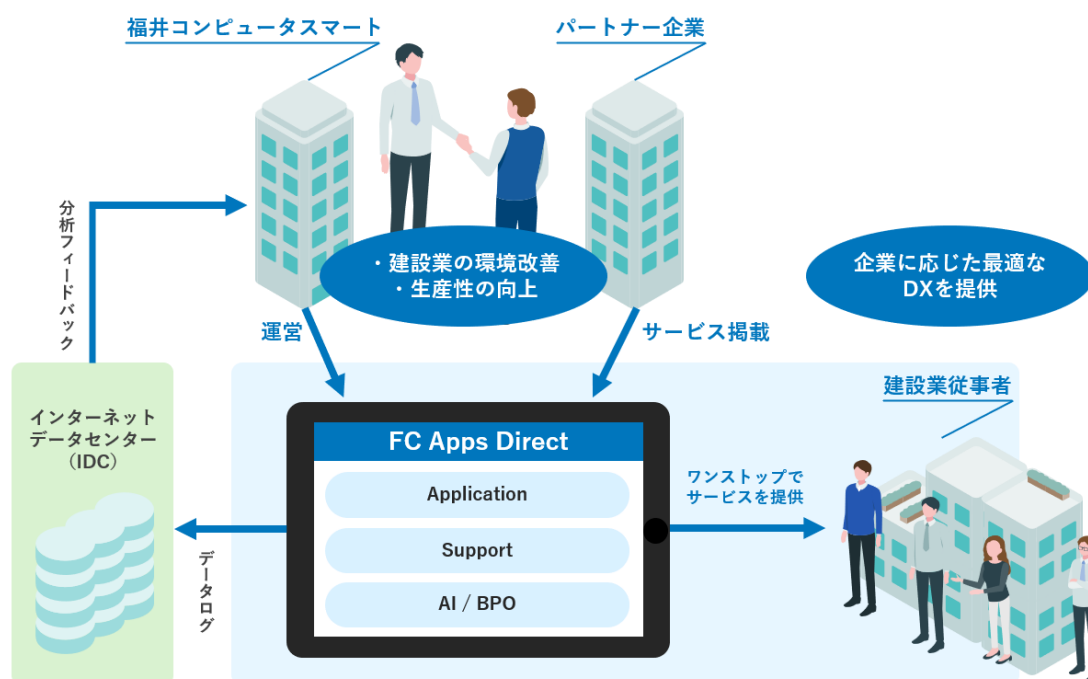
● サービスの背景

建設業界は労働力不足や材料費の高騰、環境への配慮などの課題に直面しています。これに対処するため、デジタル化は必要不可欠ですが、そのための製品やサービスが簡単には見つけにくい状況です。

● サービスの概要

「FC Apps Direct」は、建設業界の多様なニーズに応えるためのソリューションを、Web上で迅速かつ最適に提供することを目的としています。

デジタル化を促進するアプリケーションのみでなく、運用を支援するサポートやBPO、自動化を促進するAI関連サービスなど、複層的にサービスを提供し顧客提供価値を最大化します。



● ポイント

1. 3万社 11万人の顧客基盤

当社は既に多くの建設業界の企業や個人とつながりを持っており、この基盤を活用しながら、さらなる業界全体の支援を目指します。

2. ワンストップのサービス提供

サービスの検討から購入、決済、更新まで必要なサービスをワンストップで提供し建設業の環境改善と生産性を高めます。※12月時点では一部製品にて決済機能がご利用可能です。

3. 安全で効率的なデータ管理

データは安全性が確保された 2025 年度竣工予定の当社データセンターへの格納を予定しており、今後はこのデータを活用した新たなサービスの提供を視野に入れています。

4. 業界知見を持ったエキスパートによる対応

福井コンピュータグループは、建設業の有資格者が約 100 名在籍しており、豊富な専門知識と経験を保有したエキスパートが、最適なソリューション提供を支援します。

● 展開について

「FC Apps Direct」は、建設業に特化した様々なソリューションを提供するため、パートナー企業と共に成長を目指していきます。パートナー企業は、本取組に参画することで、業界における認知拡大を図る機会を得られます。今後、掲載ソリューションは 2027 年度を目処に約 100 ラインナップを計画しており、当社の顧客基盤や事業シナジーを活用し、効率的かつスマートにサービスを提供します。サービスを通じて生まれるデータは、当社のデータセンターに蓄積、さらなるイノベーションの提供材料として利活用し、業界課題に対する解決を推進します。

当社は、環境変化に対応しながら生産性向上に寄与する新しい製品やサービスの提供に努めております。本取組はその一環であり、今後も建設業への貢献に努めてまいります。

【パートナー企業について（製品名／企業名）】

- 設計コネクタサービス ARCHITREND ONE／株式会社フォトラクション（共同開発）
 - 動画・AR 手順書システム Dive／エピソテック株式会社
 - 国産クラウド型ドローン測量システム KUMIKI／株式会社スカイマティクス
 - 現場リモートツール SynQ Remote／株式会社クアンド
 - 現場デジタル化ツール 現場 Plus／株式会社ダイテック
- ※パートナー企業は今後拡大を予定しております

【本件に関するお問合せ】 福井コンピュータスマート株式会社 CX 本部 CI センター 担当：堂前
〒910-0006 福井県福井市中央一丁目3番5号 FUKUMACHI BLOCK OFFICE 13F
Tel：0776-67-8880 問い合わせフォーム：<https://hd.fukuicompu.co.jp/contact/general.php>